

キッチンに新しいソリューションを提供する、コンパクトで大容量の冷蔵庫
『COMPACT 400』シリーズを発売

- 2人世帯をターゲットに、幅60cm、奥行約60cmで395L(業界最高の収納効率^{*1})を実現 -

日立ホーム&ライフソリューション株式会社(取締役社長:石垣 忠彦)は、団塊ジュニアと団塊世代の2人世帯をターゲットにし、幅60cm、奥行約60cmで395L、業界最高の収納効率59.5%^{*}(外形体積に対する内容積の比率)の省スペースで大容量の冷蔵庫『COMPACT 400』シリーズを、ツインドアタイプとシングルドアタイプにて、2005年2月上旬から同時に発売します。

『COMPACT 400』シリーズは、マスボリュームである20代後半から30代前半のいわゆる団塊ジュニア世代と、子供が独立して2人になる団塊の世代をターゲットにしています。ターゲット特性として、団塊ジュニアは、コンパクトマンションなどに代表されるような都市形マンションのスペースが限られる住宅に住み、縮小化が進むキッチンスペースの中で、冷蔵庫にはさらなる省スペースを望んでいます。そして団塊の世代も、10年前の300L~350L冷蔵庫からの買い替えにより、同サイズで据付できる冷蔵庫を望んでいます。また容積については両世代とも当社省スペースタイプの従来機種(365L3ドア^{*2})では満足できず、大容量へのニーズが強くなっています。

こうしたニーズを踏まえ、今回開発した冷蔵庫は、当社従来冷蔵庫と同様の幅60cm、奥行約60cmというマンションへの据付に適したサイズにしました。また、日立独自のコンパクト冷凍サイクル技術や真空断熱材の採用により、ドア数を5、6ドアに増やしながらかも、395Lと業界最高の収納効率^{*1}を実現しました。さらに、団塊ジュニア世代のこだわりに応え、外観デザインもシステムキッチンにマッチしたフラットさや、ストレートなハンドルを採用。様々なキッチンレイアウトに対応でき、キッチンへの新しいソリューションを提供いたします。

加えて、『The プロフリーザ!』シリーズで好評の「セレクト製氷」、「ナノチタン触媒」を活用した全室脱臭&除菌機能を搭載。また、冷凍機能の充実も図り、-35℃の冷気によるスピード冷凍を採用し、良質のホームフリージングを実現しています。さらに、省エネ対策に関しては、最新技術の低速制御を採用し、業界トップクラスの省エネを目指しています。

*1 2004年11月29日現在。日本国内冷凍冷蔵庫において。59.5%=395L(定格内容積)/663L(冷蔵庫体積)

*2 R-S37TV

希望小売価格及び発売時期

商品名		型式	定格内容積	本体希望小売価格	発売時期	月産台数
コンパクト COMPACT 400	ツインドア	R-SF40TPAM	395L	オープン価格 ^{*3}	2月上旬	10,000台
	シングルドア	R-S40TPAM	395L	オープン価格 ^{*3}	2月上旬	10,000台

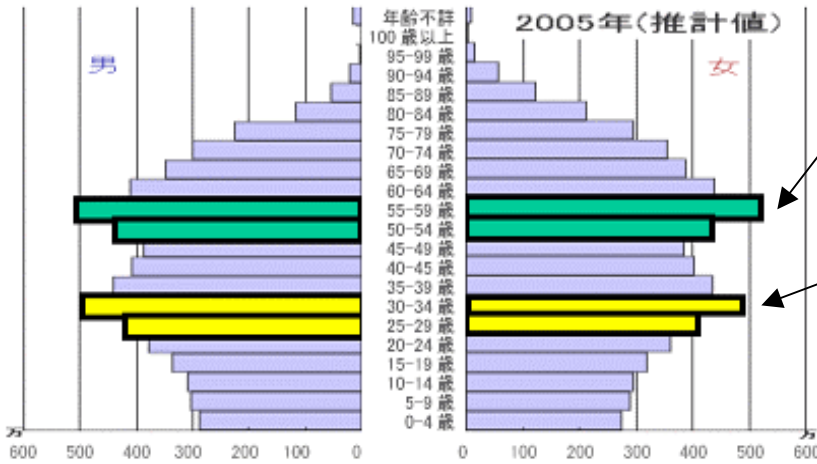
*3 オープン価格の商品は希望小売価格を定めていません。

開発の背景

1. マスボリュームの2人世帯化

2005年の人口推計を見ると、50代と25~34歳のボリュームが大きくなっています。このゾーンは、いわゆる「団塊」「団塊ジュニア」と呼ばれる世代を含み、今後2人世帯化する可能性が高いといえます。団塊の世代は子供が独立することで夫婦2人となり、また団塊ジュニアも結婚し2人世帯化します。団塊の世代はまとめ買いの活用などで、団塊ジュニアは子供が生まれることを想定して、住居スペースは少ないながらも冷蔵庫の容量は必要となり、省スペース大容量へのニーズはますます高まりつつあります。

現在でも400Lクラスの購入者の約3割が2人世帯であり、今後も増加が見込まれます。



人口構造図

団塊とその前後世代

子供が独立し、2人世帯化。
買替えを考えると省スペースで
大容量の冷蔵庫を要望。

団塊ジュニアとその前後世代

結婚により2人世帯化。
住居スペースが狭く省スペースで
大容量の冷蔵庫を要望。
デザインへのこだわり強い。

2. 2人世帯（団塊ジュニア、団塊）の特性

団塊ジュニア、団塊の世代とも冷蔵庫購入時の選定ポイントとして、据付寸法が上位にあがっています。それは、団塊ジュニア世代の場合、LDK化によりキッチンスペースが縮小傾向にあり、リビングを広く使いたいという志向が強いためです。一方、団塊の世代においては、家屋が古く独立キッチンも多いので、買い替え前の冷蔵庫が、10年前の300Lから350L前後の省スペースタイプを設置しているためです。

また、冷蔵庫の選定ポイントとして、団塊ジュニアはデザインを上位に上げています。住環境が狭い状況から、据付寸法やデザイン性へも強いこだわりを持つ傾向が見受けられます。

冷蔵庫機種選定のポイント

- 選定ポイントは据付寸法とデザイン -

	1位	2位	3位
団塊ジュニアの世代	省エネ59%	据付寸法58%	デザイン42%
団塊の世代	据付寸法71%	省エネ45%	ノンフロン33%

冷蔵庫購入時の奥行60cmの魅力度は？

- 6~7割は60cm奥行に魅力あり -

	非常に魅力	やや魅力	どちらとも	あまり魅力ない	魅力ない
団塊ジュニアの世代	31%	35%	28%		
団塊の世代	30%	29%	32%		

住宅の形態は？

- 団塊ジュニアは集合住宅、団塊の世代は戸建て多い -

	戸建て	分譲集合	賃貸集合
全体	72%	12%	16%
団塊ジュニアの世代	34%	18%	48%
団塊の世代	78%	9%	13%

キッチンの形態は？

- 団塊ジュニアはLDK、団塊の世代は独立キッチン多い -

	独立キッチン	ダイニングキッチン	LDK
全体	28%	34%	38%
団塊ジュニアの世代	34%	19%	47%
団塊の世代	33%	38%	29%

(アンケート調査N=1342名2003年実施日立調べ)

主な仕様

形 式		R - SF40TPAM	R - S40TPAM
定格内容積	合 計	3 9 5 L	3 9 5 L
	冷蔵室	2 0 7 L	2 0 7 L
	野菜室	8 8 L	8 8 L
	冷凍室	1 0 0 L	1 0 0 L
外形寸法	幅	6 0 0 mm	6 0 0 mm
	高さ	1 7 9 8 mm	1 7 9 8 mm
	奥行	6 1 5 mm	6 1 5 mm
冷蔵室扉形態		ツインドア	シングルドア
セレクト製氷			
ナノチタン触媒			
ネットワーク対応			
外装色		サテンシルバー（S） パールホワイト（W） ローズベージュ（C）	サテンシルバー（S） パールホワイト（W） 左開きも同じ

取扱事業部・照会先

日立ホーム&ライフソリューション株式会社 冷熱事業部 冷蔵庫事業企画部
 〒105-8410 東京都港区西新橋2-15-12 日立愛宕別館
 電 話：(03)3506-1699 (ダイヤルイン) [担当：玉川]

お客様問合せ先

お客様相談センター 電話：0120-312111 (フリーダイヤル)

冷蔵庫ホームページ

<http://kadenfan.hitachi.co.jp/rei/index.html>

以上

[添付資料]

<「COMPACT 400」シリーズ特徴>

1. キッチンに新しいソリューションの提案

(1) 省スペース大容量

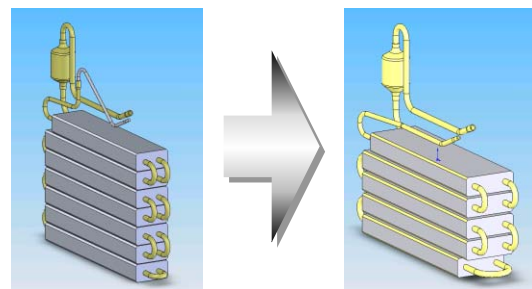
キッチンへの新しいソリューション提案の一つ目は、キッチンスペースの有効活用です。

従来、幅約60cm、奥行約60cmの場合には、365Lが容量として限界でした。しかし、新技術「コンパクト冷凍サイクル技術」等の開発で、約30L増加の395Lとなり、業界最高の59.5%の収納効率*1を実現。これにより、団塊ジュニアと団塊の世代のニーズである、省スペースで大容量を可能としました。また、ツインドアとシングルドアの2タイプを発売することで、さまざまなキッチンの据付にも対応しています。

コンパクト冷却器

従来は、冷却器の高さが高いために、野菜室背面の位置まで入り込んでしまい、野菜室のスペースが少なくなる構造でした。今回は新技術により、400Lクラスの冷却能力を確保しながら、熱交換器の高さを従来より約30%低くし、コンパクトにまとめることで、野菜室を広くすることができました。

約30%高さをコンパクト化



従来構造

新構造

冷却器形状

その他省スペース設計

さらに、下記工夫をすることで庫内を広くし、野菜室、氷温室の広々ケースを実現しました。

・基板収納位置変更

野菜室の利用状況を見ると、団塊の世代は野菜摂取志向が強いためその収納量も多く、一方、団塊ジュニア世代は、冷蔵室に収納しきれなかったボトル類を野菜室に入れているケースも見られます。このような状況から、野菜室の収納量アップが課題とされてきました。

従来、野菜室の背面のスペースに冷蔵庫制御基板を設定していたため、野菜ケースの奥行寸法を大きくすることができませんでした。今回、この制御基板設置位置を野菜室背面から冷蔵室の天井面に移動することで、野菜室の背面スペースを広く活用できるようにしました。これにより、従来機種(R-S37TV)の野菜室内容積73Lを、新構造では88Lと15L拡大し、冷蔵庫全体の収納効率向上も実現しました。

・冷気通路薄型化

団塊世代の和食への食生活変化により、お刺身等の保存性向上を目指しました。冷却ファンの設置位置を変更し、冷気の循環をスムーズにしたことで、冷却通路を従来より薄型にすることができ、冷蔵室の内容積の拡大を行いました。これにより、従来機種(R-S37TV)では12Lであった氷温室が、新構造では17Lと約40%の拡大が実現しました。

・真空断熱材の採用

日立独自の真空断熱材(HI-VIP)を採用することで、省エネを実現しながら省スペース化を実現。



内容積を拡大した野菜室



内容積を拡大した氷温室

* 1 2004年11月29日現在。日本国内冷凍冷蔵庫において。59.5%=395L(定格内容積)/663L(冷蔵庫体積)

(2)デザイン

キッチンへの新しいソリューション提案の二つ目は、キッチンへの整合性が高いデザインです。

システムキッチンのフラットな面材やストレートなハンドルに合う、シンプルでスッキリしたデザインを採用。都市型マンションの狭いキッチンでも作業を妨げないフラットさと、ストレートなハンドルにより、幅広い範囲でドアを開けられ、使いやすさも向上しています。さらに、キッチンや壁などへの整合性が高い色調の展開も行っています。



冷蔵庫外観
狭いキッチンにも
ぴったり収まる
コンパクトサイズ

フラットな鋼板とストレートなハンドル
冷蔵室も引き出しもストレートなハンドルで、どこで開けても使いやすい。
また、質感の高いアルミ調の塗装を採用し、高品質感を演出しています。



(3)低速制御による静音化、省エネ化

キッチンへの新しいソリューション提案の最後は、キッチンの使用環境向上です。

キッチンとリビングが一体化するレイアウトが増えていることから、冷蔵庫の振動や運転音がリビングに伝わりやすい環境となってきています。そこで、静音と省エネを目的として、コンプレッサーの回転数を低回転数にしたときに、発生した振動を抑える低速制御を新たに開発しました。

より省エネを進めるためには、コンプレッサーを低回転数化する必要があります。しかし、低回転数にしていくとコンプレッサーの振動が大きくなってしまいうため、逆に運転音が大きくなってしまいます。そこで、低速制御によりモーターをまわす力(=トルク)を制御し、低回転数でも振動を抑え、静音、省エネを実現しました。

2. その他の特徴

(1)セレクト製氷

氷は、飲料や料理用、遠足や通勤に水筒に入れたり、さまざまなシーンで使われています。その中で不満点を確認すると、「溶けにくい大きい氷がほしい」という要望がある一方、「早く氷がほしい」という要望もあり、お客様が選択できる製氷へのニーズが多様化しています。

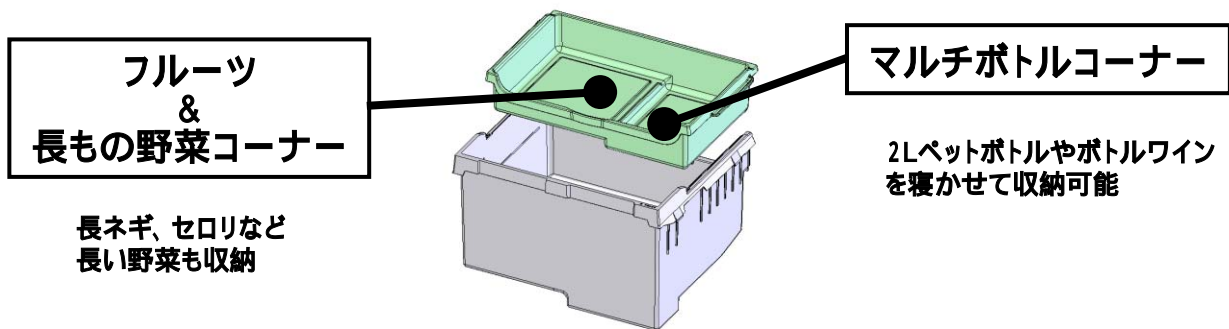
そこで、給水量を変えることで、氷の大きさを「大きめ」と「標準」がワンタッチで選択できるようにしました。さらに、ハイスピード冷凍ボタンを押せば製氷スピードが速くなり、製氷時間が選択できるようにしています。

(2)全室脱臭&除菌(ナノチタン)

ナノチタンの触媒効果により、強力に除菌ができるフィルターを採用しました。通常の抗菌材の1/200の超微粒子のナノチタン触媒が菌に接触しやすくなり、除菌効果をアップしています。また、酸化銀もフィルターに塗布することで強力脱臭も行います。これらにより、冷蔵庫の全室にて強力な脱臭と除菌を実現しています。

(3)ボトルの収納もらくらく「マルチボトル野菜室」

右側の上段コーナーにはワインや2Lのペットボトルを寝かせて収納が可能。また、左上段コーナーは長い野菜を収納できるように設定。ナノチタン触媒の効果で脱臭と除菌を行い、マイナスイオンの保水効果と野菜の酸化を抑えるビタミン成分(交換不要)で、野菜の鮮度を新鮮に保ちます。



(4) - 3 5 冷気でスピード冷凍、スピード冷蔵

フリーザー上段ケースには、アルミトレイを設定。- 3 5 の冷気ですばやく食品を凍結し、良質なホームフリージングを実現しました。これにより肉や魚などの生鮮食品を一気に凍結でき、解凍時のドロップの流出を抑えておいしい冷凍を実現しています。

また、冷蔵室には、まとめ買いしたあとに温まった食品を一気に冷却したり、冷し忘れた飲料を急に冷却できるようにスピード冷蔵機能を設定しています。スピード冷蔵ボタンを押すと、冷蔵室最上段の棚にハイスピードで冷気を吐出し、急速に食品を冷却します。

(5)高収納カツインドア(R-SF40TPAM)

60cmの幅でツインドア化すると、ドアの収納量に課題がありましたが、左右のドアの大きさを同じにするなど、高収納力設計をすることで冷蔵室各ドアに2Lのペットボトルが2本収納でき、冷蔵室ドア合計で4本収納が可能となっています。また、卵ケースを左右のドア、どちらにも設置できるようにしています。

(6) ホームネットワーク対応

ブロードバンドを利用して、住まいと暮らしを便利&安心にサポートする「ホラソネットワーク」*2に対応しています。パソコン、インターネット常時接続環境、通信アダプタセット、冷蔵庫用通信モジュール*3など必要な機器、環境を準備いただければ、「冷蔵室、冷凍室の運転状況（温度、運転モード確認）」、「24時間タイマー機能による運転モード変更（最大6プログラム）」、「電気代めやす、ドア開閉回数の確認ができる省エネチェック」などのサービス（会員向け有料*4）をご利用いただけます。

*2 「ホラソネットワーク」ホームページ <http://ns.horaso.com> をご参照下さい。

*3 接続時には、冷蔵庫用通信モジュール[別売品]が必要となります。

*4 会員登録が必要です。初回登録料:3,150円(税込)、利用料:毎月998円(税込)

(7) ノンフロン冷媒・無鉛はんだ・再生プラスチックの採用で環境にも配慮

冷媒は、オゾン層を破壊せず地球温暖化への影響も極めて少ないR600a（イソブタン）を採用し、従来から採用の断熱材発泡剤シクロペンタンと合わせ、地球温暖化の影響が極めて小さいノンフロン冷蔵庫としました。また、内分泌攪乱作用を疑われている鉛を含まない無鉛はんだを、使用量が多い冷媒配管溶着部に加え、メイン制御基板・前面操作パネル基板・ドアスイッチ基板にまで拡大し、全ての基板接続用はんだの無鉛化を行っています。さらに、再生プラスチックを基板ケースや機械室内部品などに採用し、環境負荷低減にも努めました。

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
